

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和6年3月7日(木)

# みんなの居場所

## 雑感

2025年の3月14日(土)朝のニュースで「改選」が取り上げられていた。改選は選挙のことだが、もう春です。気分もソワソワしています。心の中心にキョロキョロと有名人の顔が流れてきます。昔懐かしい顔の顔が流れてきます。2月の初め頃だったのですが、街の梅の花が咲き始めています。梅の花が咲き始めています。梅の花が咲き始めています。

10年生が学校に来る日は、私たちが大人になったときと複雑な時期ですね。期待不安が入り混じった感じがします。私たちが大人になったときと複雑な時期ですね。期待不安が入り混じった感じがします。私たちが大人になったときと複雑な時期ですね。期待不安が入り混じった感じがします。

## 私の中学時代「校則」

中学校に入学して、生徒手帳をもらいました。私の手帳には、中学時代の生徒手帳は残っています。改訂版と比べると、懐かしい規則が並んでいます。中学時代の生徒手帳にはいろいろな校則が書いてあったのですが、その中で印象に残っているのは、「外出時は保護者同伴」と、「制服を着用すること」「髪はかみえ。また両親と外出する時は親戚も同行して」とあります。当時の校則は、今と比べると本気で厳しかったのだなと改めて思います。

中学校の校則は、先ずかき書きの時間をかけて、中学校の自治的組織をまとめた結果なのです。だから、校則は必ずしも必要なものではないです。校則は必ずしも必要なものではないです。校則は必ずしも必要なものではないです。校則は必ずしも必要なものではないです。

## シリーズ「自分を語る」#162

中島小学校での出来事はまだまだ新しい出来事ばかりなので、出来る限りの経験を自分で振り返りて出来事を綴らせてみたいと思います。

6月スタートになった令和6年度の1学期は、夏休みを8月からスタートさせました。夏休みまでの期間は、分散授業、遠隔授業、在宅勤務、多くの新しい活動を体験しました。また、嬉しかったのは、給食が自校給食に戻ったことです。私がお世話になった学校では、殆ど現場でメニュー方式で、給食センターから運ばれていた状態でした。長洲小学校もその一つで、給食センターから給食が運ばれてきた。出来たての給食を食べた感じが違います。校長は「給食」という給食を子供達に食べる前にチェックしなければならぬのですが、その検査の段階では、口の中を火傷するほどの熱がありました。給食センターから運ばれてくる給食は、準備段階で行きません。熱々のおかずをそのまま運ばれてくる。それを頂くわけですね。おかげで、中島小学校での1年目はかなり体重が増えています。夏休み明けは内容を精選した短縮型の運動会。当然のことながらお風呂の弁当もありません。徒競走がメインで、接触型の競技や演技はすべて削除し、淡々と進んでいく運動会でした。「コロナ禍」から仕方なかったのかもしませんが、何か打撃はなかったか、今になって反省しています。

気運が落ちてきている頃、延期になっていた10年生の宿泊教室が実施されることとなりました。熊本市の小学校は通常の場所、金峰山少年自然の家を利用するのですが、熊本地震の後、配膳の問題で利用されなくなっていました。私は熊本市の小学校出身なので金峰山を利用しました。臨時時代に利用したことがあったので、30年振りの訪問を楽しみにしていましたが、仕方ありません。そのため、熊本市の小学校は県立の自然の家を利用することになりました。中島小学校は豊野少年自然の家を利用します。豊野少年自然の家も、教諭時代に学級キャンプで利用させて頂いた経験があり、これも楽しみの一つです。引率責任者として参加するのは、今回が初めてです。私の経験則として、このような校外の施設を利用する行事は、何かしらトラブルが起きます。割合としては、50%くらいでしょうか。命に関わるようなトラブルではありませんが、やはり急な対応にはエネルギーを使うものです。この時は、児童の早退が1人、野外活動中のクワが数本壊れたという状況でした。校長としての初めは、大きなトラブルはなかったという感じです。